

「困った子」ではなく「困っている子」と向き合う教職員の皆さんへ

春の学習交流集会



春は別れと出会いの季節。職員室には新しい仲間が、教室にも新しい集団が。期待と不安が渦巻く春ですね。毎年開催している「はるがく」、今年は大阪から大島悦子先生をお招きして、「知的障害がない自閉症児」や「知的障害のある発達障害児」の子ども達との実践について、初めて障害児教育に携わる人にもわかりやすくお話していただきます。

自分が子ども達を前にして何を大切にしながら取り組んでいったらいいのか、悩んでいるのは自分だけではありません。学校のこと、子ども達のこと、障害についてなど、一緒に考えてみませんか？たくさんのご参加お待ちしております。

日時 **5月25日土曜日** 第1部：10：00～17：00
第2部：18：00～20：00

場所 第1部 エルプラザ 中研修室
(札幌市北区北8条西3丁目 札幌駅北口地下通路12番出口直結)
第2部 労働センター3F
(札幌市東区北9条東1丁目 エルプラザより徒歩5分)



大島悦子 先生

参加費 1部：1000円 (資料代・お弁当代含む)
2部：1000円 (お寿司・アルコール飲み放題付き)

内容・日程

9：30～10：00	開場・受付開始 第1部
10：00～12：30	講演1 「 <u>発達障害と向きあう～わたしってヘン？わたしは自閉症</u> 」 知的障害がない自閉症スペクトラムの女の子。彼女の不安や葛藤に寄り添いながら、「わかる授業」の取り組みや集団での取り組みについてのお話です。
12：30～13：15	昼食休憩
13：15～13：30	共済説明会
13：30～16：00	講演2 「 <u>友達が心に灯ったとき、『ごめんなさい』のことばが</u> 」 知的障害がある発達障害の女の子はいつも自分を全否定。そんな彼女の夢を叶える取組みの話と友達とのこと。出てきたことばの「ごめんなさい。」とは…
16：00～16：45	フロアとの意見交流
16：45～17：00	閉会
18：00～20：00	第2部



講師大島悦子先生の紹介



大島先生は1954年 石川県のお生まれです。大阪で肢体不自由養護学校、病弱養護学校、小学校の特別支援学級で勤務されていました。定年後も支援学級の担任をされておりましたが、現在は、大阪市西淀川発達センター「たんぼぼ」で青年活動並びに教育相談をされています。

著書に「せんせい・まる・かく」(清風堂書店)「俺は世界で二番目か」(クリエイツかもがわ)「発達障害と向きあう」(クリエイツかもがわ)があります。

